

平成16年度の相談状況について

相談事業開始から2年を経過し、相談件数は増加しています。相談内容を見ると、「夫婦関係の問題」についての割合が平成15年度の33%から更に増え、全体の約半数を占めています。このうち離婚などの相談の背景には、DVがあることも多く、相談者自身がそれに気づいていないケースや周囲の理解や支援が得られていないケースも見られます。これからも、県民の皆様方に気軽に相談してもらえるように相談業務のより一層の充実を図るとともに、相談から見えてくる問題を各種講座等にも反映させていきたいと考えています。

●相談件数は対前年度1.4倍の1,200件

一般相談が1,064件(電話707件、面接357件)、専門家(弁護士、医師、臨床心理士)による専門相談が136件となり、前年度(856件)の1.4倍となる1,200件の相談が寄せられました。また、相談時間が1時間を超える件数が約2倍となるなど、長時間にわたる相談件数の割合が増えています。

●DVに関する相談件数が約1.6倍

「夫婦関係の問題」についての割合が46.3%と最も多く、そのうち、DVに関する件数(126件)が前年度(77件)の約1.6倍となるなど複雑で深刻な相談が増えました。

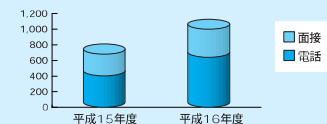
●女性からの相談が89.9%

性別で見ると、女性からの相談が89.9%、男性からの相談が10.1%となっています。

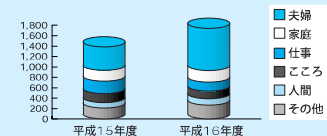
●40代からの相談が26.0%

年齢別で見ると、40代からの相談が26.0%と最も多く、30代が15.1%、50代が12.5%と続いています。

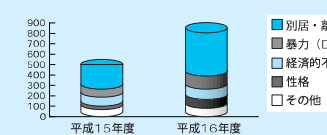
■一般相談件数



■相談内容別件数

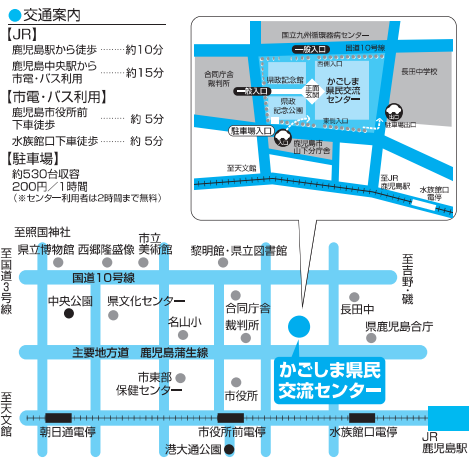


■夫婦問題詳細内容別件数



相談専用電話 099-221-6630・6631

Access Map



編集後記

今回の特集「女性のチャレンジ」は、いかがだったでしょうか。調べてみますと、地域・社会で身近に女性がチャレンジ出来る機会が意外と多いことがわかります。少子化時代といわれている中、これからますます女性の力が必要とされていることの表れではないでしょうか。

また、「男女共同参画基礎講座」受講希望者が年々増えており心強く思っています。受講生の各地域や職場等での活躍に期待しています。

「センターだより」への皆様のご意見ご感想をお待ちしています。

【編集・発行】
鹿児島県男女共同参画センター
 (かごしま県民交流センター内)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

E-mail harmony@kagoshima-pac.jp

URL http://www.kagoshima-pac.jp

鹿児島県

男女共同参画センターだより

2005.8
Vol. 5

特集

「女性のチャレンジ」

センター事業から

- 男女共同参画基礎講座
- 相談業務連絡会議
- 男女共同参画公開講座
- 地域参画支援セミナー

インフォメーション

- 女性に対する暴力の問題に関する講演会
- 地域参画支援セミナー(実践講座)
- 女と男の生き方講座
- 技能アップセミナー

グループ紹介

- 情報交換会HOP
- はやと草の根講師の会

相談室から

- 平成16年度相談状況

男女共同参画センターは、男女共同参画社会づくりにむけた総合的な活動拠点施設です

いつまでも輝きたい! 私のチャレンジ



●堀之内 孝子さん

平成12年6月鹿児島テレビ放送(株)総務局長
平成14年6月秘書役
平成15年4月番組審議会事務局局長兼総務局総務部参与
現在に至る

新しいことへの挑戦、再チャレンジなど、「チャレンジ」の形は様々ですが、仕事を続けて着実にキャリアを積んでいくことも「チャレンジ」のひとつではないでしょうか。今回は自分らしく幾つになってもキラキラと輝いて生きるためにたゆまぬチャレンジを続け、現在企業トップの一人として活躍されている堀之内さんに、ご自身の経験に基づくエピソードやメッセージをいただきました。

私は特別ではありません

私は鹿児島テレビ放送(株)(以下KTS)の創業時から在籍し、放送現場と管理部門を往復し、人事・労務を担当していました。マスコミ業界は女性に対する処遇が最も進歩的な企業だと思いの方も多いでしょうが、現実には他の業界とそれほど変わりません。この業界では女性の私が総務局長になったのは珍しいことですが、そのことが話題になる事自体おかしなことです。欧米と比べれば、日本がどんなに女性の登用が遅れているか御理解頂けることでしょうか。とはいえ、「女性の時代」と叫ばれ始めた一連の流れの中で、私が特別な人間だからということではなく、たまたま創業時からの長期勤続者であったということでの人事だったのかもしれませんが、私らしく認められたとすれば、仕事に対する姿勢でしょうか。任された仕事は、踏襲ではなく創意工夫を付け加えること、自分の仕事に常に問題意識を持ち、一工夫することで達成感が生まれるのだと思います。

女性が活躍する場が増えている

KTSのような放送局には、技術、制作、総務、経理など様々なセクションがあります。以前は報道、制作、営業の外勤などは「男性の職場」と考えられていましたが、近年は女性も何でも挑戦しようというポジティブアクション(積極的改善措置)のことも、職域拡大も進められてもいます。平成2年には女性だけで作る女性のための「ナマ・イキ VOICE」という番組で、初の女性ディレクターが誕生しました。現在では5人の女性ディレクターが誕生し、3人はお母さんです。このうち2人はアナウンサー出身です。昨年入社の新



鹿児島県 男女共同参画センターだよ
Vol.5 2005.8

卒女性は制作部のディレクターになり、女性の報道記者は3人です。こうして、今ではほとんどのセクションに女性社員が配属されていますが、「男性の職場」といわれたセクションへの女性の進出にほとんど問題はないように思います。

多様化する生き方を尊重して 能力発揮

以前は「女性は結婚したら退職するもの」と考える傾向があったのですが、結婚や育児・介護を理由とする退職勧奨がなくなった現在、KTSの女性は勤続年数が長くなりました。これからは、シングル、結婚、子どもを持つ・持たない等の多様化する生き方を尊重しながら、企業は女性の能力をどう引き出して発揮させるか貢献してもらうかが課題となるでしょう。また一方、女性自身にも自ら仕事に積極的にチャレンジしてキャリアアップをはかり、会社に貢献することが求められているわけです。特にキャリアとライフをどのようにバランスをとって、どう会社と折り合いをつけていくか、人生をどう演出していくかを考えることが大事ではないでしょうか。

輝ける自分になるために…

これまで脇役に徹していた女性にいきなり「高い意識や能力を」と言われても、なかなか主役に転じることは難しいです。なぜなら環境や土壌もないのに、女性の進出は一朝一夕にはできないもの。私が講師を務める21世紀職業財団のキャリアアップセミナーには、多くの元氣な女性たちに参加いただいております。できれば企業のトップや管理職、男性社員もセミナーなど、勉強会にどんどん参加してほしいですね。社内の女性社員を仕事のパートナーとして尊重することは男女共同参画社会の実現にも繋がると思います。

今の時代は、働いて、趣味もあり、母親でもあり…と、1人10色の時代と言われています。せっかく生まれてきたのですから、みなさんにも大いに光り輝いていただきたいと思っています。

始まっています!女性のチャレンジ支援

女性の能力や意欲が仕事や社会の中で十分に活かされることは、社会全体が活気に溢れ男女の生き方が豊かになり、男女共同参画社会の実現にもつながります。国では、女性たちがより多くのチャレンジの機会を得ることができるようにするため、今後様々なチャレンジ支援策を推進していく予定です。県内での主な支援窓口を紹介します。

働きたい、起業したい!

名称	事業内容	コメント	D	A	T	A
財団法人 21世紀職業財団 鹿児島事務所	1.女性労働者の能力発揮促進等のために、2.仕事と家庭(育児・介護)の両立のために、3.パートタイム労働者の雇用管理の改善に向け、情報提供や相談・セミナーを実施。フリー・テレフォンでは、育児・介護・家事代行のサービスに関する情報を電話で提供します。	仕事と家庭(育児や介護など)の両立、再就職の相談は気軽にフリー・テレフォンにお電話下さい。(TEL099-259-2020)	〒890-0053	鹿児島市中央町9-1	西鹿児島第一生命ビルディング3F	TEL 099-259-7815 【フリー・テレネット】 URL:http://www.2020net.jp URL:http://www.jiwe.or.jp
財団法人 かごしま産業支援センター	創業・経営革新・技術革新などのニーズに応える総合的支援機関。新事業創出やベンチャー企業等支援などのほか大学などと連携をとりながら多様な支援活動を行っています。	起業をはじめ、いろいろなご相談に応じますので、お気軽にお立ち寄りください。	〒892-0821	鹿児島市名山町9-1	県産業会館2F	TEL 099-219-1270(代) URL:http://www.kric.or.jp E-mail:kisc@po.kric.or.jp

勉強したい、実力をつけたい!

名称	事業内容	コメント	D	A	T	A
放送大学 鹿児島学習センター	放送大学は、広く国民の皆さんに大学教育の機会を平等に提供することを目的として国が設置した通信制の正規の大学です。鹿児島学習センターには現在17~81歳まで182人の方が在籍し、さまざまな科目を履修して、単位取得に励んでいます。	生涯学習時代と言われる今日、さらに多くの皆さんが本学習センターで大学生または大学院生として学習されることを期待しております。	〒892-0816	鹿児島市山下町14-50	(かごしま県民交流センター内)	TEL 099-239-3811 URL:http://www.u-air.ac.jp
独立行政法人 雇用・能力開発機構 鹿児島センター (鹿児島県能力開発促進センター)	独立行政法人 雇用・能力開発機構が設置・運営する公共職業能力開発施設。離職者の早期再就職のための訓練(離職者の訓練は無料、但しテキスト代は受講者負担)や在籍者のスキルアップのためのセミナー(有料)などを行っています。	地域ニーズを加味した職業訓練を実施して、受講者の皆さんに喜んでいただけるよう心がけています。	〒890-0068	鹿児島市東郡元町14-3		TEL 099-254-3752 URL:http://www.ehdo.go.jp/
かごしま県民大学 中央センター	高度な学習ニーズに応える講座、ふるさと鹿児島をよさで伝える講座、大卒やNPOなどと連携をとった講座、インターネットや視聴覚メディアによる学習機会の提供など、県民の主体的な生涯学習をサポートしています。	県民がいつでも、どこでも学習できるよう、学習基礎の整備に努め、学んだことが生かされる環境づくりをめざしています。	〒892-0816	鹿児島市山下町14-50	(かごしま県民交流センター内)	TEL 099-221-6604 URL:http://www.kagoshima-pac.jp

社会貢献したい!

名称	事業内容	コメント	D	A	T	A
鹿児島県 ボランティアセンター	ボランティア活動に関する相談や情報提供、ボランティアの養成、ボランティア活動への支援、市町村ボランティアセンター等との連絡調整を行います。	「いつでもどこでも、誰でも、気軽に、楽しく」できる、それがボランティア活動の魅力です。	〒890-8517	鹿児島市鴨池新町1-7	県社会福祉センター3F	TEL 099-253-6922 E-mail:vorasen@kaken-shakuyojp
NPO法人 ネイチャリング・プロジェクト	独立行政法人雇用・能力開発機構の委託を受け、NPO起業・経営者養成訓練やコミュニティビジネス実践訓練を行います。主な事業に、コミュニティビジネス支援事業、社会起業家支援事業、かごしま「遊」学塾などがあります。	NPOやコミュニティビジネスに興味のある方は気軽ににご相談ください。詳しくはホームページをご覧ください。	〒892-0842	鹿児島市東千石町14-2		TEL 099-219-5739 URL:http://www.naturing.org/ E-mail:info@naturating.org

インタビュー



NPO法人ネイチャリング・プロジェクト事務局長主任
平野 トシミさん

独立行政法人雇用・能力開発機構の委託を受け実施している「NPO起業・経営者養成科」は、今夏で第7期。これまでの訓練生から約20以上のNPOが誕生しました。女性の申し込みも多く、発想が柔軟で自分

のやりたいことが明確化されている方が多いようです。私たちは「働くこと=社会に貢献する」という考え方を大切に、今後様々な働き方を支援していきます。



放送大学在籍 (有)ISP教育企画代表
徳丸 洋子さん

出産時に受けた「心の傷」がきっかけで心理学に目覚め、心理カウンセラーとなり、いじめに悩む小中高生のための「いじめ対策プロジェクト」を主宰しています。さらに心理学を追究しようとして現在は、臨床心理士を目指して放送大学に在籍中。家事や育児の合間を縫って、勉強は1日に2~3時間。仕事とボランティア、家庭のバランスを保ちながら楽しく学んでいます。

詳しくは
●内閣府男女共同参画局 チャレンジサイト <http://www.gender.go.jp/e-challenge/>
●鹿児島県男女共同参画センター 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 (かごしま県民交流センター内)
TEL099-221-6603 <http://www.kagoshima-pac.jp>

男女共同参画基礎講座

男女共同参画の基礎的なことを学び、各地域や職場等で男女共同参画社会を推進する人材を養成することを目的とした講座です。5月から約3ヶ月間にわたり、1日2コマ計4日間8コマの連続講座で、今回定員を大きく上回る約80名が受講しました。男性も10名程度参加し、多くの質疑も出しました。講師のたもつゆかり先生に時にはユーモアを交えながら進めていただき、皆熱心に学びました。ここで、参加者の感想をアンケートより一部抜粋して紹介します。

- ・男女共同参画社会づくりは、女性の権利向上ではなく、男女の人権の尊重にあることが理解できた。
- ・他人から自分の評価を受けた時、女性だからか○だからとか…等の言葉に、「いいえ、私は私です」と思っていたことの意味が言葉で説明できるようになるのでは、と嬉しくなった。
- ・大学でジェンダーを少し勉強したが、社会に出てギャップの大きさに戸惑った。最近では、そのような社会に順応してしまう自分もいて、何が正しいのか見失いはじめていた。今回の講座を受講し、他人の考える女性観で物事を考えず、自分の価値観を大切にしたいと思う。

受講生が、本講座で学んだことを生かし、各地域や職場等で男女共同参画の推進役となっていたることを期待しています。



相談業務連絡会議

平成17年3月10日、県・市町村の福祉、保健関係等も含め、各種行政機関の窓口で女性からの相談に直接携わる担当者を対象として相談業務連絡会議を開催しました。はじめに、「相談対応の基本～男女共同参画の視点での女性相談・DV相談」と題し、大阪府立女性総合センター・センターの相談事業コーディネーターとして各方面で活躍されている川喜田好恵さんにお話をいただきました。講演では、サポートとエンパワーメント（力をつける、持つ



ている力を引き出す)をキーワードに、「女は家庭、男は仕事」といった従来の役割分業観ではなく、一人ひとりが大切にされる男女共同参画の理念を生かした相談を行うためには、「悩んでいるのはその女性だけの問題ではなく、社会に背景がある」という認識や「ジェンダー格差」への気づきが必要であること、2次被害を起ささないために求められる相談員の姿勢や心構えなどが示されました。

その後、職種別に8つのグループに分かれ、「DV被害者支援における各機関の役割と連携のとり方について」をテーマに、短い時間でしたが、熱心な討議が行われました。第1回目となった今回は約90名が参加し、「自分の意識の見直し、2次被害を与えていないかの自省の時間となった」「直接話をすることができたので今後連携しやすくなる感じた」という声をいただき、女性が抱える問題の背景にあるジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）の問題や、関係者相互のより緊密な連携づくりが図られる等、意義ある会議になりました。

男女共同参画公開講座

- 【演題】 男女共同参画の時代
～仕事と家庭の良好な関係～
【講師】 鹿嶋 敬さん
(ジャーナリスト・実践女子大学人間社会学部教授)
【日時】 平成17年5月21日(土)
13:00～15:30



先生は、まず、少子化問題にふれ、日本の合計特殊出生率が諸外国と比べて下がり続けていること、その要因の一つとして女性の重い家事・育児負担、子育てに伴う費用の増大、保育所不足などの社会制度の遅れなどにより特に働く女性が子供を育てにくい背景があると指摘されました。

また、今後の生き方について、非正規雇用の増加が予想され、どちらか一人だけの賃金では生活水準を維持するのが難しい時代になってきており、多様な生き方の選択をしていく時代になるのではと話されました。

そのためにはワークライフバランス（仕事と家庭の関係）の問題の見直しが必要で、その一番特徴的な例として男性の働き方の見直し、特に日本の子育て期にある男性の残業が多すぎて、家事・育児をする又は育児休業をとる余裕がないことをあげ、これを見直すことが大切だと考えを述べられました。

さらに、次世代育成支援推進法をふまえた男性の育児休業取得へ向けた取組みの推進、女性管理職登用を積極的に進めるための制度づくりなど、企業も社会的責任を果たすことが求められていると話されました。

最後に、男女共同参画社会とは枠にはめられない多様な生き方、性別にかかわらず個性・育児負担、子育てに伴う費用の増大、保育所不足などの社会制度の遅れなどにより特に働く女性が子供を育てにくい背景があると指摘されました。

参加者約250名には男性も多く、皆熱心に、また時にはうなずきながら話を聞いておられ、「男女共同参画のために、男性も含めた働き方の見直しが必要と改めて考えさせられた。」「少子化対策には、国・自治体・企業・個人全てが人権への配慮が必要だと痛感した。」との感想などからも本テーマへの関心の高さを感じました。



● 鹿嶋 敬さん

『地域参画支援セミナー』報告書を作りました！

16年度に実施した「地域参画支援セミナー（実践講座）」において策定した10の計画が一冊の報告書になりました。一人ひとりが講師のアドバイスのもと苦勞しながら作り上げた計画です。

※今年も12月から地域参画支援セミナーを開催します。



計画を策定したメンバーのひとり、木村さん(左)と上垣さん(右)

○インフォメーション～講座・講演会のお知らせ

17年度これから開催される講座をご紹介します。あなたも参加してみませんか。

女性に対する暴力の問題に関する講演会

託児(要予約)

「暴力を選ぶのはなぜ～DV,デートDVは誰にでも起こりえること～」と題して、山口のリ子さん(アウェア代表, DV行動変革プログラム・ファシリテーター)による講演会を開催します。

【日時】11月19日(土) 13:30開演
【場所】かごしま県民交流センター中ホール
【定員】250名
【参加費】無料
【申込締切】11月11日(金)

地域参画支援セミナー(実践講座)5回連続

託児(要予約)

男女共同参画社会の実現に向けて地域づくりに参画するための実践力を養い、リーダーとなる人材養成を目的とした講座です。

【内容】講義, 演習
【講師】たもつゆかりさん(オフィスビュア代表) 武隈 晃さん(鹿児島大学教授)
【日時】12月3日(土), 12月10日(土), 1月14日(土), 2月4日(土), 2月25日(土) 1日2講座, いずれも13:15～16:45
【場所】かごしま県民交流センター研修室
【対象】男女共同参画について基礎的な知識のある方
【定員】30名(超える場合抽選)
【参加費】無料
【申込締切】11月25日(金)

講座の申込方法 (技能アップセミナー以外)

ハガキがファックス, 電話またはEメールに次の事項を記入して, お申し込みください。

- ①氏名 ②年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号

女と男の生き方講座

託児(要予約)

今回, 2つの講座を開催します。

【内容】母親・父親のための子育てコーチング ～子どもとの関わりどうしていますか～
 *子どもの個性と主体性を尊重するコミュニケーション等を学ぶ講座です。

【講師】佐々木のり子さん
 (ハビネスサポート研究所代表, (財)生涯学習開発財団認定コーチ)

【日時】11月27日(日) 13:30～16:45
【場所】かごしま県民交流センター研修室
【定員】50名(超える場合抽選)

【内容】パートナーとの上手なコミュニケーション
 *夫婦やパートナー間で自分の気持ちや意見を伝える方法を学んでみませんか?

【講師】平川真理子さん
 (フェミニストカウンセリング鹿児島代表)

【日時】12月4日(日) 13:30～16:45
【場所】かごしま県民交流センター研修室
【定員】50名(超える場合抽選)

いずれも参加費無料 申込締切: 11月18日(金)

技能アップセミナー

育児・介護などで離職され再就職を希望する方を対象に, 就職を支援するためのパソコン講座です。

【内容】初心者を対象とした講座(パソコン操作・Word・Excel)
【日時】9月27日(火)～11月2日(水)
 主に火～金の21日間
 時間はいずれも9:30～15:30

【場所】かごしま県民交流センターパソコン研修室
【対象】県内に在住の事業趣旨に該当し全日程参加出来る方
【定員】20名(超える場合抽選)
【参加費】無料(別途テキスト代3,600円必要)
【申込方法】受講者希望本人が下記により申し込む。
 〈月日〉9月7日(水), 9月8日(木)
 〈時間〉9:30～11:30, 13:00～15:00
 〈場所〉かごしま県民交流センター中研修室第1

グループ紹介

県内各地で活躍する女性団体・グループ等を紹介します。

情報交換会HOP

「情報交換会HOP」は, 県の男女共同参画センターが主催する男女共同参画基礎講座等の受講生有志の集まりです。講座を受講し, 理論的にはわかった気がするが「実際にどのように取り組んだらいいのだろう」等の不安や悩みを一人で抱え込まないよう, 互いの活動の取り組みを語り合うため, 平成15年12月に発足, 現在21名で組織しています。

2ヶ月に1回ほど集まり, 「何をきっかけに男女共同参画の必要性に気づき, どのように取り組み, どのような効果や悩みを持っているか」などの情報交換を行ってきました。現在は「言葉から男女の関係性や個人として尊重される

生き方」について, 研修や調査を行っているところです。7月の男女共同参画フォーラムのワークショップでもその結果を紹介しました。

出水から枕崎までの県内に広がり, 30代から60代の男女で, 職業もバラバラというメンバーの多様性を生かして取り組んでいきたいと思っています。



はやと草の根講師の会

はやと草の根講師の会は, 隼人町で開催された「男女共同参画草の根養成講座」を修了した12名で結成されました。



性別や年齢にかかわらず, あらゆる人が暮らしやすい世の中, つまり男女共同参画社会をつくるために, 自ら学習を重ねながら実

践活動に基づく男女共同参画の語りべ(推進役)として, 草の根の活動を続けています。

メンバーは, 自営業, 農業(農業委員), 団体職員, 主婦, 公務員と職種も多彩で, 男女共同参画に関して, 各自がそれぞれのテーマで学習しています。

隼人町の出前講座で男女共同参画講座の講師を務めるほか, 昨年の県の男女共同参画フェスタなどでワークショップも開催しています。

センターからのお知らせ

1階男女共同参画サロンにミーティングルームを設置しています。男女共同参画社会づくりに向けて自主的に取り組んでいるグループ等を対象に, 打ち合わせやグループ間の交流に使用できます。(要事前予約 2階事務室まで)

また, サロンにある男女共同参画に関する図書の出借も行っています。どうぞ御利用下さい。

- 貸出冊数 1人につき5冊まで
- 貸出期間 14日以内

講座の申込み・お問い合わせは

鹿児島県男女共同参画センター
 TEL.099-221-6603 FAX.099-221-6640
 E-mail:harmony@kagoshima-pac.jp

※講座開催中, 託児を行うものについては, 託児マークがついています。
 ※託児ご希望の方は, 各講座日の1週間前までに, 「託児希望」と明記し, お子様の名前, 年齢をご記入のうえお申し込みください。
 ※託児の対象は, 6か月から小学校2年生までとなります。

9月▶12月のスケジュール

専門相談 法律★ 心療内科◆ 心理(男性専門相談員)♥ 心理(女性専門相談員)◎

9月 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5 休館日	6	7 技能アップセミナー受付	8 技能アップセミナー受付	9	10
11	12 休館日	13	14	15	16	17
18	19 敬老の日	20 休館日	21	22 秋分の日	23	24
25	26 休館日	27 技能アップセミナー受付	28	29	30	

10月 October						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3 休館日	4	5	6	7	8
9	10 休館日	11 休館日	12	13	14	15
16	17 休館日	18	19	20	21	22
23	24 休館日	25	26	27	28	29
30	31 休館日					

専門相談 法律★ 心療内科◆ 心理(男性専門相談員)♥ 心理(女性専門相談員)◎

11月 November						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3 文化の日	4	5
6	7 休館日	8	9	10	11	12
13	14 休館日	15	16	17	18	19
20	21 休館日	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28 休館日	29	30			

12月 December						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3 地域参画支援セミナー(第1回)
4	5 休館日	6	7	8	9	10 地域参画支援セミナー(第2回)
11	12 休館日	13	14	15	16	17
18	19 休館日	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26 休館日	27	28	29 休館日	30 休館日	31 休館日